

## <精神科>

### GIO (general instructional objective)

各種精神疾患（症状器質性・中毒性、内因性、心因性精神疾患）を経験し、鑑別診断学と治療方針の策定、予後予測や退院後の治療方針、生活プランの立て方の基本について学ぶ。とくに、うつ病関連疾患（双極性障害、大うつ病性障害、適応障害、悲哀反応）の鑑別診断は、抗うつ薬投与の適応範囲を知るために重要である。

とくに身体疾患における精神症状の評価とアセスメント（内分泌疾患、膠原病、脳器質性精神症状）は一般医として必須であるため、精神科コンサルテーションを重点的に学ぶ。医学における精神科の一般性（他の科と共通する点）と独自性（精神科特有の問題点）を念頭に置きながら、臨床上的マネジメントの基本を理解することを目標とする。

### SBOs (specific behavioral objectives)

#### (1) 基本姿勢

- ・現病歴、生活歴、家族歴、病前性格、現在症などの適切な聴取と記載を学び、疾患の理解を深める。

#### (2) 診察法・検査・手技

- ・精神科現在症の問診法と記述法の基本を学ぶ。
- ・JCS では認識されず、一般的に意識障害なしとされるが、臨床上きわめて重要な「軽度の意識混濁」概念を症例と成書から理解する。あわせて補助的な検査プランが立てられるようにする。

#### (3) 症状・病態への対応

- ・現在症の評価と鑑別診断の手順を理解することができる。
- ・薬物療法の基本的な考え方と、有害作用の予測と対応ができるようになる。
- ・精神療法の基本的な考え方を学ぶ。

### LS1 (learning strategy 1) On the job training

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は15人程度。
- (2) 上級医の外来診療を何度か観察したうえで、外来初診患者の予診を行い、上級医の本診のあとで指導を受ける。
- (3) 週2回の部長回診に参加し、症例提示を行う。
- (4) 月1回の心理カンファレンスに出席する。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 月 1 回の臨床精神医学研究会と、月 1 回の精神医学古典精読会に出席する。
- (2) 興味をもった症例や病態について、上級医の指導を受けながら学習した結果をまとめ、院内あるいは院外の勉強会、カンファランスで発表する。

週間予定 (本院)

	午前	午後	夜間
月			
火	回診		
水			
木	回診、 月 1 回心理カンファ レンス		
金			第 3 週：臨床精神医学研究会 第 4 週：精神医学古典精読会

※随時、他科コンサルテーション、外来など

週間予定 (分院)

	午前	午後	夜間
月			
火			
水	回診		
木			
金	回診		第 3 週：臨床精神医学研究会 第 4 週：精神医学古典精読会

※随時、他科コンサルテーション、外来など

EV 評価

EPOC による評価方法 (研修医  $\longleftrightarrow$  指導医)

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力をする